

わたくしたちの健康

最近増えている化膿性脊椎炎

朝霞地区医師会 林 淳慈 中村 聡

☎464-4666

化膿性脊椎炎とは、何らかの原因で血液に混入した細菌が脊椎のクッションの役目をしている椎間板や椎体自体に運ばれ、その場所で化膿してしまい、発熱を伴った腰、背中や首の痛みが出現する病気です。病気が進行すると脊椎の変形や手足の麻痺が出現し、手術を行っても後遺症が残る場合もあります。米国感染症学会からも2015年に診療ガイドラインが発表され、注目されている病気です。

原因となる細菌としては、黄色ブドウ球菌が代表的ですが、そのほかにもクレブシエラや大腸菌などの嫌気性菌や結核菌などによっても病気は引き起こされます。以前は、発生病度が少ない病気でしたが、免疫力の低下している高齢者の方や、ステロイド療法中の方、糖尿病、透析、肝臓疾患、悪性腫瘍などの治療を受けている方の増加に伴い、当院においても年間10〜20人程度の方が入院治療を行っています。治療は、安静と抗菌薬による保存療法が主体ですが、抗菌薬の効果が不十分な場合、炎症が神経まで波及する場合、骨破壊が大きい場合には手術が必要になることもあります。診断が遅くなることで治療が難しくなるために、医療機関への早期の受診が重要となります。

では、続いて症状や治療法などこの疾患にみられる特徴をもう少し詳しく説明します。

【症状】38度を越すような発熱や安静時にも認められる首、背中、腰の痛みが特徴的です。皆さんに良く知られている椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症では熱が生まれませんので、脊椎に沿った痛みを感じられたら、まずは体温を測ってみてください。さらに、炎症が神経まで広がると、足の痛みやしびれも出現します。

【診断】問診や診察に加え、レントゲンで骨の破壊の有無を調べ、MRI検査で感染部位や神経の圧迫を確認します。初期にはレントゲンでの骨破壊は認められないので、症状とMRIが診断の鍵となります。画像診断とともに重要な検査が血液検査です。白血球の増加やCRP、プロカルシトニン等の急性炎症マーカーの上昇を調べます。ここまでで、ほぼ診断は確定されますので、その後は原因菌や効果のある抗菌薬を調べるために血液培養を行います。

【治療】安静と抗菌薬による治療が基本です。コルセットを作成し、ベッド上で安静にしてください。抗菌薬を平均6週間使用します。その間に、血液検査で炎症反応を調べ、抗菌薬の効果をチェックします。しかし、



写真
化膿性脊椎炎のMRI画像
①椎間板の炎症部位
②周囲の筋肉にも炎症が波及

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	電話(048)	場所	施設名	科目	電話(048)	
5	朝霞	弁財泌尿器科・内科クリニック	泌・内	487-8160	和光	大森耳鼻咽喉科医院	耳	467-3314	
⑪	志木	たで内科クリニック	内・消内・ア レ・糖内	485-2600	志木	内田耳鼻咽喉科医院	耳・気・外・ 精	473-3387	
2	12	和光	和光駅前クリニック	外・内・小・ 整外・消内・ 肛・リハ	460-3466	朝霞	まつおか眼科クリニック	眼	450-2030
19	朝霞	あいかわ循環器内科・内科	循内・内	461-8585	和光	富澤整形外科・内科	整外・リウ・ 泌・内・消 内・リハ	468-3456	
26	朝霞	朝霞台クリニック	内	472-1288	新座	中島眼科	眼	479-1313	

※当番医は変更になる場合があります。確認してからお出かけください。

※2月の休日歯科応急診療所
実施日 2月11日(土・祝)
受付時間 午前9時～11時30分
場所 新座市休日歯科応急診療所(新座市保健センター)
診察料 健康保険法の規定料金(保険証を必ずお持ちください。)
問い合わせ ☎048-481-2211

※救急医療のお問い合わせ
●埼玉県救急医療情報センター ☎048-824-4199
●埼玉県南西部消防本部 ☎048-460-0123
※小児救急電話相談 #8000(携帯電話からも相談可能)
※大人を対象とする救急電話相談 #7000(携帯電話からも相談可能)

☆1月・2月は「はたちの献血」キャンペーンです。